

左：問題 右：答え＋超簡単な解説

Q501

入居者募集 / ○ ×

次の記述は正しいか。
入居者募集では、賃料、共益費、敷金、礼金、設備、入居可能日などを正確に表示する必要がある。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：不正確な広告はトラブルや法令違反につながる。

要点：募集条件は正確に表示する。

Q502

入居者募集 / ○ ×

次の記述は正しいか。
入居者募集広告では、問い合わせを増やすため実在しない好条件物件を掲載してよい。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：不正確な広告はトラブルや法令違反につながる。

要点：募集条件は正確に表示する。

Q503

入居者募集 / 4択

次のうち、「入居者募集」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 入居者募集広告では、問い合わせを増やすため実在しない好条件物件を掲載してよい。
2. 入居者募集では、賃料、共益費、敷金、礼金、設備、入居可能日などを正確に表示する必要がある。
3. 本人確認は入居者のプライバシーに関わるので、賃貸契約では一切行ってはならない。
4. 入居審査は担当者の勘だけで行い、申込書や本人確認は不要である。

答え・解説

正答：2. 入居者募集では、賃料、共益費、敷金、礼金、設備、入居可能日などを正確に表示する必要がある。

超簡単な解説：不正確な広告はトラブルや法令違反につながる。

要点：募集条件は正確に表示する。

Q504

入居者募集 / 4択

次のうち、「入居者募集」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 入居審査では、申込内容、本人確認、支払能力、保証方法などを確認し、判断過程を記録することが望ましい。
2. 契約時には、本人確認書類や申込情報を確認し、なりすましや虚偽申告を防ぐ。
3. 契約前には、初期費用、月額費用、禁止事項、退去時費用、更新条件を分かりやすく説明する。
4. 入居者募集広告では、問い合わせを増やすため実在しない好条件物件を掲載してよい。

答え・解説

正答：4. 入居者募集広告では、問い合わせを増やすため実在しない好条件物件を掲載してよい。

超簡単な解説：不正確な広告はトラブルや法令違反につながる。

要点：募集条件は正確に表示する。

Q505

入居審査 / ○ ×

次の記述は正しいか。
入居審査では、申込内容、本人確認、支払能力、保証方法などを確認し、判断過程を記録することが望ましい。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：審査記録は、後日の説明やトラブル防止に役立つ。

要点：審査基準と記録が重要である。

左：問題 右：答え＋超簡単な解説

Q506

入居審査 / ○ ×

次の記述は正しいか。
入居審査は担当者の勘だけで行い、申込書や本人確認は不要である。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：審査記録は、後日の説明やトラブル防止に役立つ。

要点：審査基準と記録が重要である。

Q507

入居審査 / 4択

次のうち、「入居審査」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 本人確認は入居者のプライバシーに関わるので、賃貸契約では一切行ってはならない。
2. 入居審査では、申込内容、本人確認、支払能力、保証方法などを確認し、判断過程を記録することが望ましい。
3. 入居審査は担当者の勘だけで行い、申込書や本人確認は不要である。
4. 契約前説明では、初期費用だけ伝えれば、禁止事項や退去時費用は説明不要である。

答え・解説

正答：2. 入居審査では、申込内容、本人確認、支払能力、保証方法などを確認し、判断過程を記録することが望ましい。

超簡単な解説：審査記録は、後日の説明やトラブル防止に役立つ。

要点：審査基準と記録が重要である。

Q508

入居審査 / 4択

次のうち、「入居審査」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 入居審査は担当者の勘だけで行い、申込書や本人確認は不要である。
2. 契約前には、初期費用、月額費用、禁止事項、退去時費用、更新条件を分かりやすく説明する。
3. 入居時には、傷や汚れ、設備状態を写真やチェックシートで記録しておくこと退去時精算に役立つ。
4. 契約時には、本人確認書類や申込情報を確認し、なりすましや虚偽申告を防ぐ。

答え・解説

正答：1. 入居審査は担当者の勘だけで行い、申込書や本人確認は不要である。

超簡単な解説：審査記録は、後日の説明やトラブル防止に役立つ。

要点：審査基準と記録が重要である。

Q509

本人確認 / ○ ×

次の記述は正しいか。
契約時には、本人確認書類や申込情報を確認し、なりすましや虚偽申告を防ぐ。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：本人確認は、契約の安全性と反社会的勢力排除にも関係する。

要点：なりすまし防止のため本人確認を行う。

Q510

本人確認 / ○ ×

次の記述は正しいか。
本人確認は入居者のプライバシーに関わるので、賃貸契約では一切行ってはならない。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：本人確認は、契約の安全性と反社会的勢力排除にも関係する。

要点：なりすまし防止のため本人確認を行う。

左：問題 右：答え＋超簡単な解説

Q511

本人確認 / 4択

次のうち、「本人確認」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 本人確認は入居者のプライバシーに関わるので、賃貸契約では一切行ってはならない。
2. 契約時には、本人確認書類や申込情報を確認し、なりすましや虚偽申告を防ぐ。
3. 入居時の室内状況は、退去時に管理会社が自由に判断すればよいので記録不要である。
4. 契約前説明では、初期費用だけ伝えれば、禁止事項や退去時費用は説明不要である。

答え・解説

正答：2. 契約時には、本人確認書類や申込情報を確認し、なりすましや虚偽申告を防ぐ。

超簡単な解説：本人確認は、契約の安全性と反社会的勢力排除にも関係する。

要点：なりすまし防止のため本人確認を行う。

Q512

本人確認 / 4択

次のうち、「本人確認」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 契約前には、初期費用、月額費用、禁止事項、退去時費用、更新条件を分かりやすく説明する。
2. 入居時には、傷や汚れ、設備状態を写真やチェックシートで記録しておくで退去時精算に役立つ。
3. 鍵の引渡しでは、本数、種類、受領者、引渡し日を記録することが望ましい。
4. 本人確認は入居者のプライバシーに関わるので、賃貸契約では一切行ってはならない。

答え・解説

正答：4. 本人確認は入居者のプライバシーに関わるので、賃貸契約では一切行ってはならない。

超簡単な解説：本人確認は、契約の安全性と反社会的勢力排除にも関係する。

要点：なりすまし防止のため本人確認を行う。

Q513

契約前説明 / ○×

次の記述は正しいか。

契約前には、初期費用、月額費用、禁止事項、退去時費用、更新条件を分かりやすく説明する。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：入居後トラブルの多くは、契約前の認識違いから発生する。

要点：初期費用と禁止事項を明確にする。

Q514

契約前説明 / ○×

次の記述は正しいか。

契約前説明では、初期費用だけ伝えれば、禁止事項や退去時費用は説明不要である。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：入居後トラブルの多くは、契約前の認識違いから発生する。

要点：初期費用と禁止事項を明確にする。

Q515

契約前説明 / 4択

次のうち、「契約前説明」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 契約前説明では、初期費用だけ伝えれば、禁止事項や退去時費用は説明不要である。
2. 契約前には、初期費用、月額費用、禁止事項、退去時費用、更新条件を分かりやすく説明する。
3. 鍵は消耗品なので、誰に何本渡したか記録する必要はない。
4. 入居時の室内状況は、退去時に管理会社が自由に判断すればよいので記録不要である。

答え・解説

正答：2. 契約前には、初期費用、月額費用、禁止事項、退去時費用、更新条件を分かりやすく説明する。

超簡単な解説：入居後トラブルの多くは、契約前の認識違いから発生する。

要点：初期費用と禁止事項を明確にする。

左：問題 右：答え＋超簡単な解説

Q516

契約前説明 / 4択

次のうち、「契約前説明」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 入居時には、傷や汚れ、設備状態を写真やチェックシートで記録しておくで退去時精算に役立つ。
2. 24時間受付を行う場合は、緊急対応の対象、連絡先、一次対応、費用負担を明確にしておく。
3. 鍵の引渡しでは、本数、種類、受領者、引渡し日を記録することが望ましい。
4. 契約前説明では、初期費用だけ伝えれば、禁止事項や退去時費用は説明不要である。

答え・解説

正答：4. 契約前説明では、初期費用だけ伝えれば、禁止事項や退去時費用は説明不要である。

超簡単な解説：入居後トラブルの多くは、契約前の認識違いから発生する。

要点：初期費用と禁止事項を明確にする。

Q517

入居時チェック / ○×

次の記述は正しいか。

入居時には、傷や汚れ、設備状態を写真やチェックシートで記録しておくで退去時精算に役立つ。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：入居時記録は、入居前からあった損耗かどうかを判断する材料になる。

要点：入居時の室内状況を記録する。

Q518

入居時チェック / ○×

次の記述は正しいか。

入居時の室内状況は、退去時に管理会社が自由に判断すればよいので記録不要である。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：入居時記録は、入居前からあった損耗かどうかを判断する材料になる。

要点：入居時の室内状況を記録する。

Q519

入居時チェック / 4択

次のうち、「入居時チェック」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 入居時の室内状況は、退去時に管理会社が自由に判断すればよいので記録不要である。
2. 入居時には、傷や汚れ、設備状態を写真やチェックシートで記録しておくで退去時精算に役立つ。
3. 鍵は消耗品なので、誰に何本渡したか記録する必要はない。
4. 24時間受付と表示すれば、どのような要望にも無料で即時対応する義務がある。

答え・解説

正答：2. 入居時には、傷や汚れ、設備状態を写真やチェックシートで記録しておくで退去時精算に役立つ。

超簡単な解説：入居時記録は、入居前からあった損耗かどうかを判断する材料になる。

要点：入居時の室内状況を記録する。

Q520

入居時チェック / 4択

次のうち、「入居時チェック」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 苦情対応では、日時、申出内容、相手方、対応者、対応結果を時系列で記録する。
2. 24時間受付を行う場合は、緊急対応の対象、連絡先、一次対応、費用負担を明確にしておく。
3. 入居時の室内状況は、退去時に管理会社が自由に判断すればよいので記録不要である。
4. 鍵の引渡しでは、本数、種類、受領者、引渡し日を記録することが望ましい。

答え・解説

正答：3. 入居時の室内状況は、退去時に管理会社が自由に判断すればよいので記録不要である。

超簡単な解説：入居時記録は、入居前からあった損耗かどうかを判断する材料になる。

要点：入居時の室内状況を記録する。

左：問題 右：答え＋超簡単な解説

Q521

鍵渡し / ○ ×

次の記述は正しいか。
鍵の引渡しでは、本数、種類、受領者、引渡し日を記録することが望ましい。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：鍵管理の記録は、防犯と退去時返却確認に役立つ。

要点：鍵の本数と受領記録を残す。

Q522

鍵渡し / ○ ×

次の記述は正しいか。
鍵は消耗品なので、誰に何本渡したか記録する必要はない。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：鍵管理の記録は、防犯と退去時返却確認に役立つ。

要点：鍵の本数と受領記録を残す。

Q523

鍵渡し / 4択

次のうち、「鍵渡し」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 24時間受付と表示すれば、どのような要望にも無料で即時対応する義務がある。
2. 苦情は感情的なものであるため、記録せず担当者の記憶に任せる方がよい。
3. 鍵の引渡しでは、本数、種類、受領者、引渡し日を記録することが望ましい。
4. 鍵は消耗品なので、誰に何本渡したか記録する必要はない。

答え・解説

正答：3. 鍵の引渡しでは、本数、種類、受領者、引渡し日を記録することが望ましい。

超簡単な解説：鍵管理の記録は、防犯と退去時返却確認に役立つ。

要点：鍵の本数と受領記録を残す。

Q524

鍵渡し / 4択

次のうち、「鍵渡し」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 24時間受付を行う場合は、緊急対応の対象、連絡先、一次対応、費用負担を明確にしておく。
2. 鍵は消耗品なので、誰に何本渡したか記録する必要はない。
3. 苦情対応では、日時、申出内容、相手方、対応者、対応結果を時系列で記録する。
4. 騒音対応では、一方の申告だけで決めつけず、発生状況や双方の言い分を確認する。

答え・解説

正答：2. 鍵は消耗品なので、誰に何本渡したか記録する必要はない。

超簡単な解説：鍵管理の記録は、防犯と退去時返却確認に役立つ。

要点：鍵の本数と受領記録を残す。

Q525

24時間対応 / ○ ×

次の記述は正しいか。
24時間受付を行う場合は、緊急対応の対象、連絡先、一次対応、費用負担を明確にしておく。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：受付範囲の誤解はクレームにつながるため、条件明示が必要である。

要点：緊急受付の範囲を明確にする。

左：問題 右：答え＋超簡単な解説

Q526

24時間対応 / ○ ×

次の記述は正しいか。
24時間受付と表示すれば、どのような要望にも無料で即時対応する義務がある。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：受付範囲の誤解はクレームにつながるため、条件明示が必要である。

要点：緊急受付の範囲を明確にする。

Q527

24時間対応 / 4択

次のうち、「24時間対応」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 苦情は感情的なものなので、記録せず担当者の記憶に任せる方がよい。
2. 24時間受付と表示すれば、どのような要望にも無料で即時対応する義務がある。
3. 騒音の苦情では、先に連絡してきた入居者の主張を必ず全面的に正しいものとして扱う。
4. 24時間受付を行う場合は、緊急対応の対象、連絡先、一次対応、費用負担を明確にしておく。

答え・解説

正答：4. 24時間受付を行う場合は、緊急対応の対象、連絡先、一次対応、費用負担を明確にしておく。

超簡単な解説：受付範囲の誤解はクレームにつながるため、条件明示が必要である。

要点：緊急受付の範囲を明確にする。

Q528

24時間対応 / 4択

次のうち、「24時間対応」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 苦情対応では、日時、申出内容、相手方、対応者、対応結果を時系列で記録する。
2. 騒音対応では、一方の申告だけで決めつけず、発生状況や双方の言い分を確認する。
3. 家賃滞納の督促では、連絡時間、言動、第三者への情報開示などに注意し、適切に行う。
4. 24時間受付と表示すれば、どのような要望にも無料で即時対応する義務がある。

答え・解説

正答：4. 24時間受付と表示すれば、どのような要望にも無料で即時対応する義務がある。

超簡単な解説：受付範囲の誤解はクレームにつながるため、条件明示が必要である。

要点：緊急受付の範囲を明確にする。

Q529

クレーム記録 / ○ ×

次の記述は正しいか。
苦情対応では、日時、申出内容、相手方、対応者、対応結果を時系列で記録する。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：記録は対応漏れ防止と紛争時の説明資料になる。

要点：苦情は時系列で記録する。

Q530

クレーム記録 / ○ ×

次の記述は正しいか。
苦情は感情的なものなので、記録せず担当者の記憶に任せる方がよい。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：記録は対応漏れ防止と紛争時の説明資料になる。

要点：苦情は時系列で記録する。

左：問題 右：答え＋超簡単な解説

Q531

クレーム記録 / 4択

次のうち、「クレーム記録」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 苦情は感情的なものであるため、記録せず担当者の記憶に任せる方がよい。
2. 苦情対応では、日時、申出内容、相手方、対応者、対応結果を時系列で記録する。
3. 滞納督促では、勤務先や近隣へ滞納事実を広く知らせることが有効であり問題ない。
4. 騒音の苦情では、先に連絡してきた入居者の主張を必ず全面的に正しいものとして扱う。

答え・解説

正答：2. 苦情対応では、日時、申出内容、相手方、対応者、対応結果を時系列で記録する。

超簡単な解説：記録は対応漏れ防止と紛争時の説明資料になる。

要点：苦情は時系列で記録する。

Q532

クレーム記録 / 4択

次のうち、「クレーム記録」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 家賃滞納の督促では、連絡時間、言動、第三者への情報開示などに注意し、適切に行う。
2. 退去受付では、解約予告期間、退去予定日、立会い日、鍵返却、精算方法を確認する。
3. 騒音対応では、一方の申告だけで決めつけず、発生状況や双方の言い分を確認する。
4. 苦情は感情的なものであるため、記録せず担当者の記憶に任せる方がよい。

答え・解説

正答：4. 苦情は感情的なものであるため、記録せず担当者の記憶に任せる方がよい。

超簡単な解説：記録は対応漏れ防止と紛争時の説明資料になる。

要点：苦情は時系列で記録する。

Q533

騒音対応 / ○×

次の記述は正しいか。

騒音対応では、一方の申告だけで決めつけず、発生状況や双方の言い分を確認する。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：事実確認を怠ると、当事者間の対立を悪化させる。

要点：双方の言い分を確認する。

Q534

騒音対応 / ○×

次の記述は正しいか。

騒音の苦情では、先に連絡してきた入居者の主張を必ず全面的に正しいものとして扱う。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：事実確認を怠ると、当事者間の対立を悪化させる。

要点：双方の言い分を確認する。

Q535

騒音対応 / 4択

次のうち、「騒音対応」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 滞納督促では、勤務先や近隣へ滞納事実を広く知らせることが有効であり問題ない。
2. 騒音の苦情では、先に連絡してきた入居者の主張を必ず全面的に正しいものとして扱う。
3. 退去の連絡を受けたら、解約予告期間や鍵返却を確認する必要はない。
4. 騒音対応では、一方の申告だけで決めつけず、発生状況や双方の言い分を確認する。

答え・解説

正答：4. 騒音対応では、一方の申告だけで決めつけず、発生状況や双方の言い分を確認する。

超簡単な解説：事実確認を怠ると、当事者間の対立を悪化させる。

要点：双方の言い分を確認する。

左：問題 右：答え＋超簡単な解説

Q536

騒音対応 / 4択

次のうち、「騒音対応」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 騒音の苦情では、先に連絡してきた入居者の主張を必ず全面的に正しいものとして扱う。
2. 退去立会いでは、損耗箇所、原因、入居期間、入居時記録を確認して精算判断を行う。
3. 退去受付では、解約予告期間、退去予定日、立会日、鍵返却、精算方法を確認する。
4. 家賃滞納の督促では、連絡時間、言動、第三者への情報開示などに注意し、適切に行う。

答え・解説

正答：1. 騒音の苦情では、先に連絡してきた入居者の主張を必ず全面的に正しいものとして扱う。

超簡単な解説：事実確認を怠ると、当事者間の対立を悪化させる。

要点：双方の言い分を確認する。

Q537

滞納督促 / ○ ×

次の記述は正しいか。

家賃滞納の督促では、連絡時間、言動、第三者への情報開示などに注意し、適切に行う。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：過度な督促はプライバシー侵害や不法行為の問題になり得る。

要点：督促は法令と社会通念に沿って行う。

Q538

滞納督促 / ○ ×

次の記述は正しいか。

滞納督促では、勤務先や近隣へ滞納事実を広く知らせることが有効であり問題ない。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：過度な督促はプライバシー侵害や不法行為の問題になり得る。

要点：督促は法令と社会通念に沿って行う。

Q539

滞納督促 / 4択

次のうち、「滞納督促」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 家賃滞納の督促では、連絡時間、言動、第三者への情報開示などに注意し、適切に行う。
2. 滞納督促では、勤務先や近隣へ滞納事実を広く知らせることが有効であり問題ない。
3. 退去立会いでは、室内に傷があれば原因を確認せずすべて入居者負担にできる。
4. 退去の連絡を受けたら、解約予告期間や鍵返却を確認する必要はない。

答え・解説

正答：1. 家賃滞納の督促では、連絡時間、言動、第三者への情報開示などに注意し、適切に行う。

超簡単な解説：過度な督促はプライバシー侵害や不法行為の問題になり得る。

要点：督促は法令と社会通念に沿って行う。

Q540

滞納督促 / 4択

次のうち、「滞納督促」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 滞納督促では、勤務先や近隣へ滞納事実を広く知らせることが有効であり問題ない。
2. 退去受付では、解約予告期間、退去予定日、立会日、鍵返却、精算方法を確認する。
3. 退去立会いでは、損耗箇所、原因、入居期間、入居時記録を確認して精算判断を行う。
4. 原状回復見積りでは、工事項目、数量、単価、負担区分を明確にすることが望ましい。

答え・解説

正答：1. 滞納督促では、勤務先や近隣へ滞納事実を広く知らせることが有効であり問題ない。

超簡単な解説：過度な督促はプライバシー侵害や不法行為の問題になり得る。

要点：督促は法令と社会通念に沿って行う。

左：問題 右：答え + 超簡単な解説

Q541

退去受付 / ○ ×

次の記述は正しいか。
退去受付では、解約予告期間、退去予定日、立会い日、鍵返却、精算方法を確認する。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：退去手続は賃料発生や募集開始時期に影響する。

要点：解約通知期限と退去日を確認する。

Q542

退去受付 / ○ ×

次の記述は正しいか。
退去の連絡を受けたら、解約予告期間や鍵返却を確認する必要はない。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：退去手続は賃料発生や募集開始時期に影響する。

要点：解約通知期限と退去日を確認する。

Q543

退去受付 / 4択

次のうち、「退去受付」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 退去の連絡を受けたら、解約予告期間や鍵返却を確認する必要はない。
2. 原状回復見積りは総額だけを示せばよく、内訳や負担区分は不要である。
3. 退去立会いでは、室内に傷があれば原因を確認せずすべて入居者負担にできる。
4. 退去受付では、解約予告期間、退去予定日、立会い日、鍵返却、精算方法を確認する。

答え・解説

正答：4. 退去受付では、解約予告期間、退去予定日、立会い日、鍵返却、精算方法を確認する。

超簡単な解説：退去手続は賃料発生や募集開始時期に影響する。

要点：解約通知期限と退去日を確認する。

Q544

退去受付 / 4択

次のうち、「退去受付」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 退去立会いでは、損耗箇所、原因、入居期間、入居時記録を確認して精算判断を行う。
2. 空室期間中は、通風、通水、郵便物確認、漏水確認、清掃などを行うことが望ましい。
3. 退去の連絡を受けたら、解約予告期間や鍵返却を確認する必要はない。
4. 原状回復見積りでは、工事項目、数量、単価、負担区分を明確にすることが望ましい。

答え・解説

正答：3. 退去の連絡を受けたら、解約予告期間や鍵返却を確認する必要はない。

超簡単な解説：退去手続は賃料発生や募集開始時期に影響する。

要点：解約通知期限と退去日を確認する。

Q545

退去立会い / ○ ×

次の記述は正しいか。
退去立会いでは、損耗箇所、原因、入居期間、入居時記録を確認して精算判断を行う。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：損耗原因の確認は、原状回復トラブル防止の中心である。

要点：損耗の原因と範囲を確認する。

左：問題 右：答え＋超簡単な解説

Q546

退去立会い / ○ ×

次の記述は正しいか。
退去立会いでは、室内に傷があれば原因を確認せずすべて入居者負担にできる。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：損耗原因の確認は、原状回復トラブル防止の中心である。

要点：損耗の原因と範囲を確認する。

Q547

退去立会い / 4択

次のうち、「退去立会い」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 退去立会いでは、損耗箇所、原因、入居期間、入居時記録を確認して精算判断を行う。
2. 空室は誰も住んでいないので、次の入居まで全く確認しなくてよい。
3. 原状回復見積りは総額だけを示せばよく、内訳や負担区分は不要である。
4. 退去立会いでは、室内に傷があれば原因を確認せずすべて入居者負担にできる。

答え・解説

正答：1. 退去立会いでは、損耗箇所、原因、入居期間、入居時記録を確認して精算判断を行う。

超簡単な解説：損耗原因の確認は、原状回復トラブル防止の中心である。

要点：損耗の原因と範囲を確認する。

Q548

退去立会い / 4択

次のうち、「退去立会い」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 空室期間中は、通風、通水、郵便物確認、漏水確認、清掃などをを行うことが望ましい。
2. 募集開始時期は、退去予定日、原状回復工事、内見可能日、入居可能日を考慮して決める。
3. 原状回復見積りでは、工事項目、数量、単価、負担区分を明確にすることが望ましい。
4. 退去立会いでは、室内に傷があれば原因を確認せずすべて入居者負担にできる。

答え・解説

正答：4. 退去立会いでは、室内に傷があれば原因を確認せずすべて入居者負担にできる。

超簡単な解説：損耗原因の確認は、原状回復トラブル防止の中心である。

要点：損耗の原因と範囲を確認する。

Q549

原状回復見積 / ○ ×

次の記述は正しいか。
原状回復見積りでは、工事項目、数量、単価、負担区分を明確にすることが望ましい。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：内訳が不明確だと、借主・貸主双方の納得を得にくい。

要点：見積りは項目と数量を明確にする。

Q550

原状回復見積 / ○ ×

次の記述は正しいか。
原状回復見積りは総額だけを示せばよく、内訳や負担区分は不要である。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：内訳が不明確だと、借主・貸主双方の納得を得にくい。

要点：見積りは項目と数量を明確にする。

左：問題 右：答え＋超簡単な解説

Q551

原状回復見積 / 4択

次のうち、「原状回復見積」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 原状回復見積りでは、工事項目、数量、単価、負担区分を明確にすることが望ましい。
2. 空室は誰も住んでいないので、次の入居まで全く確認しなくてよい。
3. 退去予定が出て、原状回復や内見可能日を考えず入居可能日を自由に表示してよい。
4. 原状回復見積りは総額だけを示せばよく、内訳や負担区分は不要である。

答え・解説

正答：1. 原状回復見積りでは、工事項目、数量、単価、負担区分を明確にすることが望ましい。

超簡単な解説：内訳が不明確だと、借主・貸主双方の納得を得にくい。

要点：見積りは項目と数量を明確にする。

Q552

原状回復見積 / 4択

次のうち、「原状回復見積」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 募集開始時期は、退去予定日、原状回復工事、内見可能日、入居可能日を考慮して決める。
2. 空室期間中は、通風、通水、郵便物確認、漏水確認、清掃などを行うことが望ましい。
3. オーナーには、入居状況、未収金、修繕、苦情、募集状況などを定期的に報告することが望ましい。
4. 原状回復見積りは総額だけを示せばよく、内訳や負担区分は不要である。

答え・解説

正答：4. 原状回復見積りは総額だけを示せばよく、内訳や負担区分は不要である。

超簡単な解説：内訳が不明確だと、借主・貸主双方の納得を得にくい。

要点：見積りは項目と数量を明確にする。

Q553

空室管理 / ○ ×

次の記述は正しいか。

空室期間中は、通風、通水、郵便物確認、漏水確認、清掃などを行うことが望ましい。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：空室中の管理不足は、臭気、害虫、漏水、劣化につながる。

要点：空室中も通風・通水・巡回が必要である。

Q554

空室管理 / ○ ×

次の記述は正しいか。

空室は誰も住んでいないので、次の入居まで全く確認しなくてよい。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：空室中の管理不足は、臭気、害虫、漏水、劣化につながる。

要点：空室中も通風・通水・巡回が必要である。

Q555

空室管理 / 4択

次のうち、「空室管理」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 退去予定が出て、原状回復や内見可能日を考えず入居可能日を自由に表示してよい。
2. 空室は誰も住んでいないので、次の入居まで全く確認しなくてよい。
3. 空室期間中は、通風、通水、郵便物確認、漏水確認、清掃などを行うことが望ましい。
4. オーナー報告は決算時だけ行えば足り、日常の管理状況は共有不要である。

答え・解説

正答：3. 空室期間中は、通風、通水、郵便物確認、漏水確認、清掃などを行うことが望ましい。

超簡単な解説：空室中の管理不足は、臭気、害虫、漏水、劣化につながる。

要点：空室中も通風・通水・巡回が必要である。

左：問題 右：答え＋超簡単な解説

Q556

空室管理 / 4択

次のうち、「空室管理」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 空室は誰も住んでいないので、次の入居まで全く確認しなくてよい。
2. オーナーには、入居状況、未収金、修繕、苦情、募集状況などを定期的に報告することが望ましい。
3. 修繕提案では、必要性、放置リスク、見積り、工期、優先順位を示すと判断しやすい。
4. 募集開始時期は、退去予定日、原状回復工事、内見可能日、入居可能日を考慮して決める。

答え・解説

正答：1. 空室は誰も住んでいないので、次の入居まで全く確認しなくてよい。

超簡単な解説：空室中の管理不足は、臭気、害虫、漏水、劣化につながる。

要点：空室中も通風・通水・巡回が必要である。

Q557

募集開始時期 / ○×

次の記述は正しいか。

募集開始時期は、退去予定日、原状回復工事、内見可能日、入居可能日を考慮して決める。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：募集条件の不一致は申込者とのトラブルにつながる。

要点：退去予定と原状回復期間を考えて募集する。

Q558

募集開始時期 / ○×

次の記述は正しいか。

退去予定が出て、原状回復や内見可能日を考えず入居可能日を自由に表示してよい。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：募集条件の不一致は申込者とのトラブルにつながる。

要点：退去予定と原状回復期間を考えて募集する。

Q559

募集開始時期 / 4択

次のうち、「募集開始時期」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 退去予定が出て、原状回復や内見可能日を考えず入居可能日を自由に表示してよい。
2. オーナー報告は決算時だけ行えば足り、日常の管理状況は共有不要である。
3. 募集開始時期は、退去予定日、原状回復工事、内見可能日、入居可能日を考慮して決める。
4. 修繕提案では、専門用語だけを並べればオーナー説明として十分である。

答え・解説

正答：3. 募集開始時期は、退去予定日、原状回復工事、内見可能日、入居可能日を考慮して決める。

超簡単な解説：募集条件の不一致は申込者とのトラブルにつながる。

要点：退去予定と原状回復期間を考えて募集する。

Q560

募集開始時期 / 4択

次のうち、「募集開始時期」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 修繕提案では、必要性、放置リスク、見積り、工期、優先順位を示すと判断しやすい。
2. オーナーには、入居状況、未収金、修繕、苦情、募集状況などを定期的に報告することが望ましい。
3. 退去予定が出て、原状回復や内見可能日を考えず入居可能日を自由に表示してよい。
4. 修繕業者を選定する際は、見積り、工事範囲、保証、過去実績、緊急対応力を確認する。

答え・解説

正答：3. 退去予定が出て、原状回復や内見可能日を考えず入居可能日を自由に表示してよい。

超簡単な解説：募集条件の不一致は申込者とのトラブルにつながる。

要点：退去予定と原状回復期間を考えて募集する。

左：問題 右：答え＋超簡単な解説

Q561

オーナー報告 / ○ ×

次の記述は正しいか。
オーナーには、入居状況、未収金、修繕、苦情、募集状況などを定期的に報告することが望ましい。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：所有者は報告に基づいて賃貸経営上の判断を行う。

要点：管理状況を定期的に共有する。

Q562

オーナー報告 / ○ ×

次の記述は正しいか。
オーナー報告は決算時だけ行えば足り、日常の管理状況は共有不要である。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：所有者は報告に基づいて賃貸経営上の判断を行う。

要点：管理状況を定期的に共有する。

Q563

オーナー報告 / 4択

次のうち、「オーナー報告」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 修繕提案では、専門用語だけを並べればオーナー説明として十分である。
2. 修繕業者は最初に電話がつながった業者に必ず発注しなければならない。
3. オーナーには、入居状況、未収金、修繕、苦情、募集状況などを定期的に報告することが望ましい。
4. オーナー報告は決算時だけ行えば足り、日常の管理状況は共有不要である。

答え・解説

正答：3. オーナーには、入居状況、未収金、修繕、苦情、募集状況などを定期的に報告することが望ましい。

超簡単な解説：所有者は報告に基づいて賃貸経営上の判断を行う。

要点：管理状況を定期的に共有する。

Q564

オーナー報告 / 4択

次のうち、「オーナー報告」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 修繕提案では、必要性、放置リスク、見積り、工期、優先順位を示すと判断しやすい。
2. ごみ、騒音、越境、駐車などは近隣住民との関係にも影響するため、早期対応が重要である。
3. オーナー報告は決算時だけ行えば足り、日常の管理状況は共有不要である。
4. 修繕業者を選定する際は、見積り、工事範囲、保証、過去実績、緊急対応力を確認する。

答え・解説

正答：3. オーナー報告は決算時だけ行えば足り、日常の管理状況は共有不要である。

超簡単な解説：所有者は報告に基づいて賃貸経営上の判断を行う。

要点：管理状況を定期的に共有する。

Q565

修繕提案 / ○ ×

次の記述は正しいか。
修繕提案では、必要性、放置リスク、見積り、工期、優先順位を示すと判断しやすい。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：所有者が判断できるよう、費用対効果とリスクを具体的に説明する。

要点：必要性・見積り・優先順位を示す。

左：問題 右：答え＋超簡単な解説

Q566

修繕提案 / ○ ×

次の記述は正しいか。
修繕提案では、専門用語だけを並べればオーナー説明として十分である。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：所有者が判断できるよう、費用対効果とリスクを具体的に説明する。

要点：必要性・見積り・優先順位を示す。

Q567

修繕提案 / 4択

次のうち、「修繕提案」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 近隣住民は契約当事者ではないため、管理会社はどのような苦情も無視してよい。
2. 修繕業者は最初に電話がつながった業者に必ず発注しなければならない。
3. 修繕提案では、必要性、放置リスク、見積り、工期、優先順位を示すと判断しやすい。
4. 修繕提案では、専門用語だけを並べればオーナー説明として十分である。

答え・解説

正答：3. 修繕提案では、必要性、放置リスク、見積り、工期、優先順位を示すと判断しやすい。

超簡単な解説：所有者が判断できるよう、費用対効果とリスクを具体的に説明する。

要点：必要性・見積り・優先順位を示す。

Q568

修繕提案 / 4択

次のうち、「修繕提案」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. ごみ、騒音、越境、駐車などは近隣住民との関係にも影響するため、早期対応が重要である。
2. 修繕業者を選定する際は、見積り、工事範囲、保証、過去実績、緊急対応力を確認する。
3. ごみ置場では、収集日、分別、粗大ごみ、清掃、カラス対策などのルール周知が重要である。
4. 修繕提案では、専門用語だけを並べればオーナー説明として十分である。

答え・解説

正答：4. 修繕提案では、専門用語だけを並べればオーナー説明として十分である。

超簡単な解説：所有者が判断できるよう、費用対効果とリスクを具体的に説明する。

要点：必要性・見積り・優先順位を示す。

Q569

業者選定 / ○ ×

次の記述は正しいか。
修繕業者を選定する際は、見積り、工事範囲、保証、過去実績、緊急対応力を確認する。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：業者選定の記録は、費用妥当性の説明に役立つ。

要点：見積比較と発注記録を残す。

Q570

業者選定 / ○ ×

次の記述は正しいか。
修繕業者は最初に電話がつながった業者に必ず発注しなければならない。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：業者選定の記録は、費用妥当性の説明に役立つ。

要点：見積比較と発注記録を残す。

左：問題 右：答え＋超簡単な解説

Q571

業者選定 / 4択

次のうち、「業者選定」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 修繕業者は最初に電話がつながった業者に必ず発注しなければならない。
2. 近隣住民は契約当事者ではないため、管理会社はどのような苦情も無視してよい。
3. 修繕業者を選定する際は、見積り、工事範囲、保証、過去実績、緊急対応力を確認する。
4. ごみ置場の乱れは入居者の問題なので、管理実務で対応する必要はない。

答え・解説

正答：3. 修繕業者を選定する際は、見積り、工事範囲、保証、過去実績、緊急対応力を確認する。
超簡単な解説：業者選定の記録は、費用妥当性の説明に役立つ。
要点：見積比較と発注記録を残す。

Q572

業者選定 / 4択

次のうち、「業者選定」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 放置自転車への対応では、掲示、所有者確認、保管期間、撤去手続を慎重に行う。
2. ごみ置場では、収集日、分別、粗大ごみ、清掃、カラス対策などのルール周知が重要である。
3. ごみ、騒音、越境、駐車などは近隣住民との関係にも影響するため、早期対応が重要である。
4. 修繕業者は最初に電話がつながった業者に必ず発注しなければならない。

答え・解説

正答：4. 修繕業者は最初に電話がつながった業者に必ず発注しなければならない。
超簡単な解説：業者選定の記録は、費用妥当性の説明に役立つ。
要点：見積比較と発注記録を残す。

Q573

近隣対応 / ○×

次の記述は正しいか。
ごみ、騒音、越境、駐車などは近隣住民との関係にも影響するため、早期対応が重要である。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい
超簡単な解説：近隣トラブルは物件価値や入居継続にも影響する。
要点：入居者だけでなく近隣との関係も管理対象である。

Q574

近隣対応 / ○×

次の記述は正しいか。
近隣住民は契約当事者ではないため、管理会社はどのような苦情も無視してよい。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り
超簡単な解説：近隣トラブルは物件価値や入居継続にも影響する。
要点：入居者だけでなく近隣との関係も管理対象である。

Q575

近隣対応 / 4択

次のうち、「近隣対応」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 駐輪場の自転車は管理会社が邪魔だと思えば、確認せず直ちに処分できる。
2. ごみ置場の乱れは入居者の問題なので、管理実務で対応する必要はない。
3. ごみ、騒音、越境、駐車などは近隣住民との関係にも影響するため、早期対応が重要である。
4. 近隣住民は契約当事者ではないため、管理会社はどのような苦情も無視してよい。

答え・解説

正答：3. ごみ、騒音、越境、駐車などは近隣住民との関係にも影響するため、早期対応が重要である。
超簡単な解説：近隣トラブルは物件価値や入居継続にも影響する。
要点：入居者だけでなく近隣との関係も管理対象である。

左：問題 右：答え + 超簡単な解説

Q576

近隣対応 / 4択

次のうち、「近隣対応」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 放置自転車への対応では、掲示、所有者確認、保管期間、撤去手続を慎重に行う。
2. ごみ置場では、収集日、分別、粗大ごみ、清掃、カラス対策などのルール周知が重要である。
3. 近隣住民は契約当事者ではないため、管理会社はどのような苦情も無視してよい。
4. 管理システムでは、担当者権限、パスワード、退職者アカウント、バックアップを管理する必要がある。

答え・解説

正答：3. 近隣住民は契約当事者ではないため、管理会社はどのような苦情も無視してよい。

超簡単な解説：近隣トラブルは物件価値や入居継続にも影響する。

要点：入居者だけでなく近隣との関係も管理対象である。

Q577

ごみ置場管理 / ○×

次の記述は正しいか。

ごみ置場では、収集日、分別、粗大ごみ、清掃、カラス対策などのルール周知が重要である。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：ごみ置場の状態は衛生・近隣関係・物件印象に影響する。

要点：ごみ出しルールの周知と清掃が必要である。

Q578

ごみ置場管理 / ○×

次の記述は正しいか。

ごみ置場の乱れは入居者の問題なので、管理実務で対応する必要はない。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：ごみ置場の状態は衛生・近隣関係・物件印象に影響する。

要点：ごみ出しルールの周知と清掃が必要である。

Q579

ごみ置場管理 / 4択

次のうち、「ごみ置場管理」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 管理システムは便利なので、全社員が同じIDとパスワードを使う方が安全である。
2. ごみ置場の乱れは入居者の問題なので、管理実務で対応する必要はない。
3. ごみ置場では、収集日、分別、粗大ごみ、清掃、カラス対策などのルール周知が重要である。
4. 駐輪場の自転車は管理会社が邪魔だと思えば、確認せず直ちに処分できる。

答え・解説

正答：3. ごみ置場では、収集日、分別、粗大ごみ、清掃、カラス対策などのルール周知が重要である。

超簡単な解説：ごみ置場の状態は衛生・近隣関係・物件印象に影響する。

要点：ごみ出しルールの周知と清掃が必要である。

Q580

ごみ置場管理 / 4択

次のうち、「ごみ置場管理」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 災害時には、入居者安全、建物被害、オーナー報告、保険会社、修繕業者への連絡順位を決めておく。
2. ごみ置場の乱れは入居者の問題なので、管理実務で対応する必要はない。
3. 放置自転車への対応では、掲示、所有者確認、保管期間、撤去手続を慎重に行う。
4. 管理システムでは、担当者権限、パスワード、退職者アカウント、バックアップを管理する必要がある。

答え・解説

正答：2. ごみ置場の乱れは入居者の問題なので、管理実務で対応する必要はない。

超簡単な解説：ごみ置場の状態は衛生・近隣関係・物件印象に影響する。

要点：ごみ出しルールの周知と清掃が必要である。

左：問題 右：答え + 超簡単な解説

Q581

駐輪場管理 / ○ ×

次の記述は正しいか。
放置自転車への対応では、掲示、所有者確認、保管期間、撤去
手続を慎重に行う。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：放置物処理では所有権侵害を避けるため、手続
と記録が重要である。

要点：放置自転車には手続を踏んで対応する。

Q582

駐輪場管理 / ○ ×

次の記述は正しいか。
駐輪場の自転車は管理会社が邪魔だと思えば、確認せず直ちに
処分できる。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：放置物処理では所有権侵害を避けるため、手続
と記録が重要である。

要点：放置自転車には手続を踏んで対応する。

Q583

駐輪場管理 / 4択

次のうち、「駐輪場管理」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 駐輪場の自転車は管理会社が邪魔だと思えば、確認せず直ちに
処分できる。
2. 放置自転車への対応では、掲示、所有者確認、保管期間、撤去
手続を慎重に行う。
3. 災害時はすべての連絡を翌月の定期報告まで待てばよい。
4. 管理システムは便利なので、全社員が同じIDとパスワードを使
う方が安全である。

答え・解説

正答：2. 放置自転車への対応では、掲示、所有者確認、保管期
間、撤去手続を慎重に行う。

超簡単な解説：放置物処理では所有権侵害を避けるため、手続
と記録が重要である。

要点：放置自転車には手続を踏んで対応する。

Q584

駐輪場管理 / 4択

次のうち、「駐輪場管理」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 管理システムでは、担当者権限、パスワード、退職者アカウント、
バックアップを管理する必要がある。
2. 災害時には、入居者安全、建物被害、オーナー報告、保険会社、修
繕業者への連絡順位を決めておく。
3. 明渡訴訟、相続、成年後見、破産など法律判断が必要な事案では、
弁護士等の専門家へ相談することが望ましい。
4. 駐輪場の自転車は管理会社が邪魔だと思えば、確認せず直ちに処
分できる。

答え・解説

正答：4. 駐輪場の自転車は管理会社が邪魔だと思えば、確認せ
ず直ちに処分できる。

超簡単な解説：放置物処理では所有権侵害を避けるため、手続
と記録が重要である。

要点：放置自転車には手続を踏んで対応する。

Q585

データ管理 / ○ ×

次の記述は正しいか。
管理システムでは、担当者権限、パスワード、退職者アカウン
ト、バックアップを管理する必要がある。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：賃貸管理データには個人情報と金銭情報が含ま
れるため、情報セキュリティが重要である。

要点：管理システムの権限設定が重要である。

左：問題 右：答え＋超簡単な解説

Q586

データ管理 / ○ ×

次の記述は正しいか。
管理システムは便利なので、全社員が同じIDとパスワードを使う方が安全である。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：賃貸管理データには個人情報と金銭情報が含まれるため、情報セキュリティが重要である。

要点：管理システムの権限設定が重要である。

Q587

データ管理 / 4択

次のうち、「データ管理」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 管理システムは便利なので、全社員が同じIDとパスワードを使う方が安全である。
2. 災害時はすべての連絡を翌月の定期報告まで待てばよい。
3. 管理会社はどのような法的紛争でも、弁護士資格なしに代理人として訴訟対応できる。
4. 管理システムでは、担当者権限、パスワード、退職者アカウント、バックアップを管理する必要がある。

答え・解説

正答：4. 管理システムでは、担当者権限、パスワード、退職者アカウント、バックアップを管理する必要がある。

超簡単な解説：賃貸管理データには個人情報と金銭情報が含まれるため、情報セキュリティが重要である。

要点：管理システムの権限設定が重要である。

Q588

データ管理 / 4択

次のうち、「データ管理」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 災害時には、入居者安全、建物被害、オーナー報告、保険会社、修繕業者への連絡順位を決めておく。
2. 明渡訴訟、相続、成年後見、破産など法律判断が必要な事案では、弁護士等の専門家へ相談することが望ましい。
3. 賃貸管理では、所有者利益だけでなく入居者の安全・安心にも配慮し、公平で誠実な対応が求められる。
4. 管理システムは便利なので、全社員が同じIDとパスワードを使う方が安全である。

答え・解説

正答：4. 管理システムは便利なので、全社員が同じIDとパスワードを使う方が安全である。

超簡単な解説：賃貸管理データには個人情報と金銭情報が含まれるため、情報セキュリティが重要である。

要点：管理システムの権限設定が重要である。

Q589

災害時連絡 / ○ ×

次の記述は正しいか。
災害時には、入居者安全、建物被害、オーナー報告、保険会社、修繕業者への連絡順位を決めておく。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：災害対応は初動の速さと情報整理が重要である。

要点：災害時の連絡順位を決めておく。

Q590

災害時連絡 / ○ ×

次の記述は正しいか。
災害時はすべての連絡を翌月の定期報告まで待てばよい。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：災害対応は初動の速さと情報整理が重要である。

要点：災害時の連絡順位を決めておく。

左：問題 右：答え＋超簡単な解説

Q591

災害時連絡 / 4択

次のうち、「災害時連絡」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 管理会社はどのような法的紛争でも、弁護士資格なしに代理人として訴訟対応できる。
2. 管理会社は所有者から報酬を受けているため、入居者の安全や権利を考える必要はない。
3. 災害時には、入居者安全、建物被害、オーナー報告、保険会社、修繕業者への連絡順位を決めておく。
4. 災害時はすべての連絡を翌月の定期報告まで待てばよい。

答え・解説

正答：3. 災害時には、入居者安全、建物被害、オーナー報告、保険会社、修繕業者への連絡順位を決めておく。

超簡単な解説：災害対応は初動の速さと情報整理が重要である。

要点：災害時の連絡順位を決めておく。

Q592

災害時連絡 / 4択

次のうち、「災害時連絡」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 災害時はすべての連絡を翌月の定期報告まで待てばよい。
2. 入居者募集では、賃料、共益費、敷金、礼金、設備、入居可能日などを正確に表示する必要がある。
3. 明渡訴訟、相続、成年後見、破産など法律判断が必要な事案では、弁護士等の専門家へ相談することが望ましい。
4. 賃貸管理では、所有者利益だけでなく入居者の安全・安心にも配慮し、公平で誠実な対応が求められる。

答え・解説

正答：1. 災害時はすべての連絡を翌月の定期報告まで待てばよい。

超簡単な解説：災害対応は初動の速さと情報整理が重要である。

要点：災害時の連絡順位を決めておく。

Q593

法的助言の限界 / ○×

次の記述は正しいか。

明渡訴訟、相続、成年後見、破産など法律判断が必要な事案では、弁護士等の専門家へ相談することが望ましい。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：管理実務では、対応できる範囲と専門家へつなぐ範囲を区別する。

要点：管理会社は必要に応じて専門家へつなぐ。

Q594

法的助言の限界 / ○×

次の記述は正しいか。

管理会社はどのような法的紛争でも、弁護士資格なしに代理人として訴訟対応できる。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：管理実務では、対応できる範囲と専門家へつなぐ範囲を区別する。

要点：管理会社は必要に応じて専門家へつなぐ。

Q595

法的助言の限界 / 4択

次のうち、「法的助言の限界」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 管理会社はどのような法的紛争でも、弁護士資格なしに代理人として訴訟対応できる。
2. 明渡訴訟、相続、成年後見、破産など法律判断が必要な事案では、弁護士等の専門家へ相談することが望ましい。
3. 入居者募集広告では、問い合わせを増やすため実在しない好条件物件を掲載してよい。
4. 管理会社は所有者から報酬を受けているため、入居者の安全や権利を考える必要はない。

答え・解説

正答：2. 明渡訴訟、相続、成年後見、破産など法律判断が必要な事案では、弁護士等の専門家へ相談することが望ましい。

超簡単な解説：管理実務では、対応できる範囲と専門家へつなぐ範囲を区別する。

要点：管理会社は必要に応じて専門家へつなぐ。

左：問題 右：答え＋超簡単な解説

Q596

法的助言の限界 / 4択

次のうち、「法的助言の限界」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 入居審査では、申込内容、本人確認、支払能力、保証方法などを確認し、判断過程を記録することが望ましい。
2. 入居者募集では、賃料、共益費、敷金、礼金、設備、入居可能日などを正確に表示する必要がある。
3. 管理会社はどのような法的紛争でも、弁護士資格なしに代理人として訴訟対応できる。
4. 賃貸管理では、所有者利益だけでなく入居者の安全・安心にも配慮し、公平で誠実な対応が求められる。

答え・解説

正答：3. 管理会社はどのような法的紛争でも、弁護士資格なしに代理人として訴訟対応できる。

超簡単な解説：管理実務では、対応できる範囲と専門家へつなぐ範囲を区別する。

要点：管理会社は必要に応じて専門家へつなぐ。

Q597

倫理 / ○×

次の記述は正しいか。

賃貸管理では、所有者利益だけでなく入居者の安全・安心にも配慮し、公平で誠実な対応が求められる。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：1. 正しい

超簡単な解説：賃貸管理士には専門知識だけでなく、倫理観と説明責任が求められる。

要点：公平性と説明責任が重要である。

Q598

倫理 / ○×

次の記述は正しいか。

管理会社は所有者から報酬を受けているため、入居者の安全や権利を考える必要はない。

選択肢

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：2. 誤り

超簡単な解説：賃貸管理士には専門知識だけでなく、倫理観と説明責任が求められる。

要点：公平性と説明責任が重要である。

Q599

倫理 / 4択

次のうち、「倫理」について正しいものはどれか。

選択肢

1. 入居審査は担当者の勘だけで行い、申込書や本人確認は不要である。
2. 管理会社は所有者から報酬を受けているため、入居者の安全や権利を考える必要はない。
3. 賃貸管理では、所有者利益だけでなく入居者の安全・安心にも配慮し、公平で誠実な対応が求められる。
4. 入居者募集広告では、問い合わせを増やすため実在しない好条件物件を掲載してよい。

答え・解説

正答：3. 賃貸管理では、所有者利益だけでなく入居者の安全・安心にも配慮し、公平で誠実な対応が求められる。

超簡単な解説：賃貸管理士には専門知識だけでなく、倫理観と説明責任が求められる。

要点：公平性と説明責任が重要である。

Q600

倫理 / 4択

次のうち、「倫理」について誤っているものはどれか。

選択肢

1. 契約時には、本人確認書類や申込情報を確認し、なりすましや虚偽申告を防ぐ。
2. 入居者募集では、賃料、共益費、敷金、礼金、設備、入居可能日などを正確に表示する必要がある。
3. 管理会社は所有者から報酬を受けているため、入居者の安全や権利を考える必要はない。
4. 入居審査では、申込内容、本人確認、支払能力、保証方法などを確認し、判断過程を記録することが望ましい。

答え・解説

正答：3. 管理会社は所有者から報酬を受けているため、入居者の安全や権利を考える必要はない。

超簡単な解説：賃貸管理士には専門知識だけでなく、倫理観と説明責任が求められる。

要点：公平性と説明責任が重要である。